MA2510-A © 2025 CASIO COMPUTER CO., LTD.

CASIO

取扱説明書

ウオッチ

3580＊JA

このたびは、本機をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用の前に本書の「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

2025年10月作成

この時計の特長

◆ ストップウオッチとして使えます

経過時間を1/100秒単位で24時間まで計測できます。

◆ タイマーとして使えます

設定時間をカウントダウン計測し、残り時間が0になると電子音でお知らせします。

◆ アラームを設定できます

設定した時刻になると、電子音でお知らせします。

◆ デュアルタイムがわかります

現在時刻とは別に、海外の時刻などもう1つの時刻を表示できます。

安全上のご注意

絵表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠ **危険**	死亡または重傷を負う可能性が大きい内容を示しています。
⚠ **警告**	死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
⚠ **注意**	軽傷を負う可能性および物的損害が発生する可能性がある内容を示しています。

絵表示の例



分解禁止

⃠記号は「してはいけないこと」を意味しています(左の例は分解禁止)。



△記号は「気をつけるべきこと」を意味しています。



●記号は「しなければならないこと」を意味しています。

⚠危険

電池について

ボタン電池を取り外した場合は、電池を誤飲しない、させない。特に乳幼児の手が届く所に電池を置かない。

電池を飲み込んだ場合、または飲み込んだ恐れがある場合は、直ちに医師と相談してください。電池を飲み込むと、短時間で化学やけどや粘膜組織の貫通などを引き起こし、死亡事故の原因になります。

⚠警告

スクーバダイビングに使用しない

本機をスクーバダイビングに使用しない。

本機はダイバーズウオッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。

分解・改造しない

分解禁止

本機を分解・改造しない。

けがの原因となります。

⚠注意

お手入れについて

ケース・バンドは常に清潔にして使う。

ケース・バンドは汚れからさびが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。特に、海水に浸した後、放置するとさびやすくなります。

かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触しています。使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

1. 金属・皮革に対するアレルギー
2. 時計の本体およびバンドの汚れ・さび・汗など
3. 体調不良など

バンドは余裕を持たせて使用する。

きつくしめると、汗をかきやすく、空気の通りが悪くなり、かぶれを起こす恐れがあります。

「抗菌防臭バンド」は細菌の繁殖とにおいの発生を抑えます。皮膚のかぶれを防ぐものではありません。

かぶれなど、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

ときどき時計を外して手首を休ませる。

お客様のご使用いただく環境(長時間の装着や汗をかいた場合など)によっては、皮膚(肌)に負担がかかる場合があります。皮膚障害を防ぐため定期的に製品の装着をやめ、皮膚(肌)を休ませてください。

ご使用にあたって

時計の表示は、安全な場所で確認する。

思わぬ転倒や、けが、事故の原因となることがあります。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車などの運転中はご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にもご注意ください。

時計の着脱に注意する。

バンドの中留で爪を傷つける恐れがあります。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。

小さなお子様と接するときは、時計を外す。

お子様のけがやアレルギーによるかぶれの原因となることがあります。

電池消耗で時計が止まった場合は、速やかに電池を交換する。

電池の液漏れによる周囲の汚損の原因となることがあります。

時計本体（裏ぶたを含む）やバンドに製品保護シールが付いている場合は、ご使用になる前に必ずはがす。

シールをはがさずにご使用になると、「時計本体やバンド」と「シール」との隙間に汚れが付着し、さびやかぶれの原因となることがあります。

目次

この時計の特長 1

安全上のご注意 2

モードを切り替える 7

操作音について 9

ライト点灯について 10

ボタンを押して点灯させる …… 10
ライト点灯時間の切り替え …… 10

ストップウオッチの使い方 11

計測のしかた …… 11

タイマーの使い方 13

タイマー方法について …… 13
タイマー時間のセット …… 13
タイマーの使い方 …… 14

アラーム・時報の使い方 15

アラーム・時報について …… 15
アラーム時刻のセット …… 15
アラーム・時報のオン/オフ設定 …… 17

デュアルタイムの使い方 18

デュアルタイムのセット …… 18

時刻・カレンダーの合わせ方 20

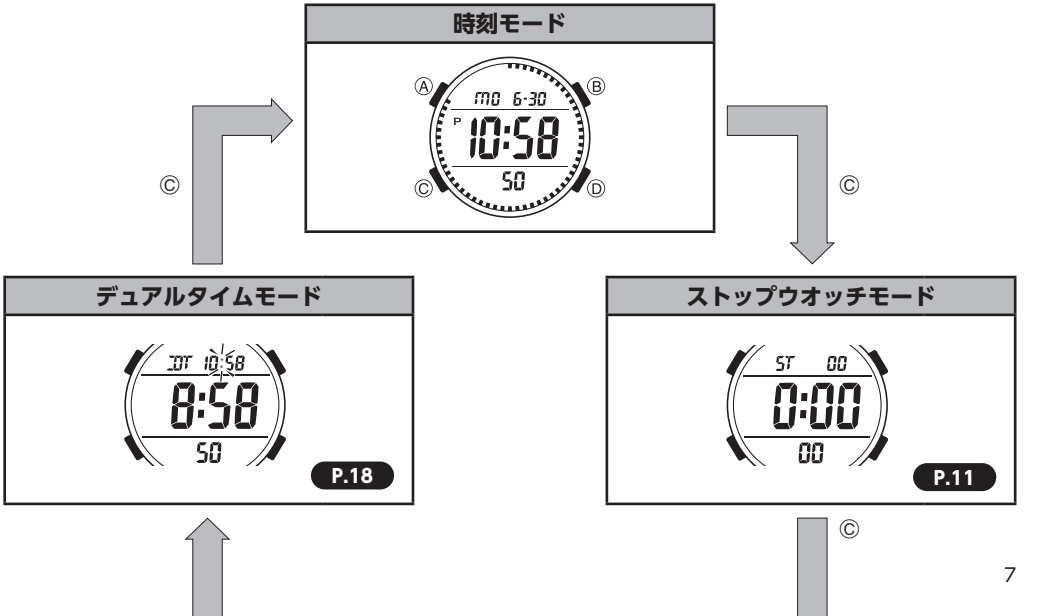
時刻・カレンダーのセット …… 20

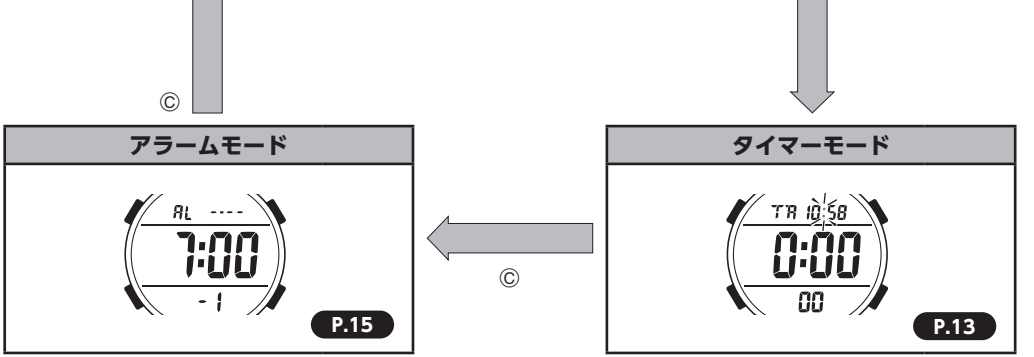
製品仕様 …… 22
ご使用上の注意 …… 23
お手入れについて …… 26
電池交換について …… 27
金属バンドの駒詰めについて …… 27

モードを切り替える

Ⓒボタンを押すたびに、以下の順でモードが切り替わります。

- Ⓑボタンを押すと、ライトが点灯します。




©
アラームモード
AL ----
7:00
-1
P.15
©
タイマーモード
TR 10:58
0:00
00
P.13

操作音について

モード切り替え時などに鳴る操作音のオン/オフを切り替えることができます。

●操作音のオン/オフ設定

セット中(表示点滅)以外のどのモードのときでも、

Ⓒボタンを3秒以上押し続けます



ミュートマーク

➟確認音が鳴り、操作音のオン/オフが切り替わります。

- 操作音をオフにしているときは、ミュートマークが点灯します。
- 操作音がオフでも、アラーム音、時報音、タイマーのタイムアップ音は鳴ります。
- Ⓒボタンを押したときに、モードも切り替わります。

ライト点灯について

セット中(表示点滅)以外のどのモードのときでも、Ⓑボタンを押すとライトが点灯し、暗いところでも表示を確認することができます。

■ ボタンを押して点灯させる

「セット中(表示点滅)」以外のどのモードのときでも、

Ⓑボタンを押します



➡Ⓑボタンを押すとライトが点灯します。

- 点灯時間は約1.5秒間と約3秒間のいずれかを選ぶことができます。

■ ライト点灯時間の切り替え

1. セット状態にする

時刻モードのとき、

Ⓐボタンを1秒以上押し続けます



➡秒が点滅します。

2. 点灯時間を選ぶ

Ⓑボタンを押します

➡Ⓑボタンを押すたびに約1.5秒間と約3秒間が切り替わります。

- -=約1.5秒間
  =約3秒間

3. セットを終わる

Ⓐボタンを2回押します

➡点滅が止まり、セット完了です。

- 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

ストップウオッチの使い方

7ページの「モードを切り替える」にしたがい
Ⓒボタンを押し、ストップウオッチモードにします。

ストップウオッチは1/100秒単位で23時間59分59秒99（24時間計）まで計測できます。計測範囲を超えると、自動的に0に戻って計測し続けます。

■計測のしかた

ストップウオッチモードのとき、

Ⓓボタンを押します

➟Ⓓボタンを押すたびに、計測がスタート/ストップします。



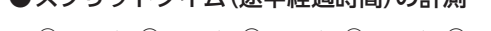
●計測中にⒶボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続ける**スプリット計測**となります（[SPL]表示）。
- 計測中に他のモードに切り替えても、内部で計測を継続します。ただしストップウオッチモードに戻ったとき、スプリットタイム表示は解除されています。

●計測終了後Ⓐボタンを押すと、計測値が0に戻ります（リセット）。

●通常計測



●スプリットタイム（途中経過時間）の計測



●1・2着同時計測



タイマーの使い方

7ページの「モードを切り替える」にしたがい
Ⓒボタンを押し、タイマーモードにします。

タイマー時間は分単位で24時間までセットすることができ、セットした時間を経過（タイムアップ）すると、10秒間電子音が鳴ります。
また、タイムアップ後も自動的に計測を繰り返すオートリピートタイマーとしても使えます。

■ タイマー方法について

●オートリピートタイマー（自動繰り返し計測）

タイムアップしても、計測ストップするまで自動的にタイマー時間に戻り、繰り返し計測を行います。

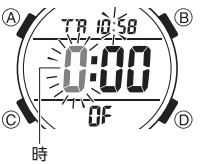
■ タイマー時間のセット

1. セット状態にする

タイマーモード（計測リセット状態）のとき、

Ⓐボタンを1秒以上押し続けます

➡「時」が点滅します。

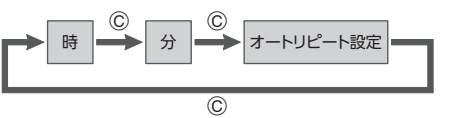


2. セット箇所を選ぶ

Ⓒボタンを押します

➡Ⓒボタンを押すたびに点滅箇所が以下の順で切り替わります。

- 点滅箇所がセットできます。



3. 点滅箇所をセットする

Ⓓまたは Ⓑボタンを押します

➟Ⓓボタンを押すたびに1つずつ進み、Ⓑボタンを押すたびに1つずつ戻ります。

- Ⓓ・Ⓑボタンとも押し続けると早送りができます。

手順*2.*～*3.*の操作を繰り返して、時・分およびオートリピート設定をセットします。

- セット時間を24時間に設定するときは、表示を[0:00]にします。
- オートリピート設定はⒹボタンを押すたびにリピート(OF)とオートリピート(On)が切り替わります。オートリピートを設定したときは、タイマーモードで[⇆]が点灯します。

4. セットを終わる

Ⓐボタンを押します

➟点滅が止まり、セット完了です。

- 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

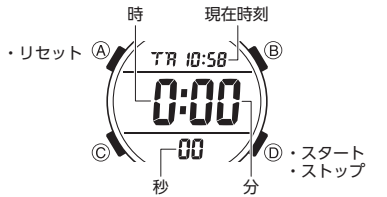
■ タイマーの使い方

タイマーモードのとき、

Ⓓボタンを押します

➟Ⓓボタンを押すたびに、計測がスタート/ストップします。

- 1秒単位で計測します。



- ●計測ストップ後Ⓐボタンを押すと、計測前の表示に戻ります(リセット)。
- ●Ⓓボタンでストップ後、もう一度Ⓓボタンを押すと表示タイムに引き続き計測を始めます。

★タイムアップになると

セットした時間を経過すると、10秒間電子音が鳴り、タイムアップを知らせます。

★鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと音が止まります。

アラーム・時報の使い方

7ページの「モードを切り替える」にしたがい
Ⓒボタンを押し、アラームモードにします。

■ アラーム・時報について

●通常アラーム(アラーム1～アラーム3)

設定した時刻になると約10秒間の電子音が鳴ります。

●スヌーズアラーム(アラーム1のみ)

スヌーズ機能をオンにすると、設定した時刻に約10秒間の電子音が鳴り、5分おきに合計7回報音を繰り返します。なお、ボタンを押して音を止めても再び鳴り出します。

- 基本時刻のセット中にスヌーズアラーム時刻と一致した場合は、1回のみ報音を行います。

●時報

毎正時(00分のとき)に「ピッピッ」と電子音が鳴ります。

●アラームモードのとき、何も操作せず2～3分間経過すると自動的に時刻モードに戻ります。

■ アラーム時刻のセット

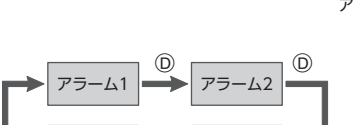
1. **アラームを選ぶ**

アラームモードのとき、

Ⓓボタンを押します

➡Ⓓボタンを押すたびに以下の順で表示が切り替わりますので、セットしたいアラームを選びます。





2. セット状態にする

Ⓐボタンを1秒以上押し続けます

➡「時」が点滅します。

- アラームオンマーク [ALM] が点灯し、自動的にアラームオンになります。
- アラーム1がスヌーズアラームオンのときにセット操作を行うと、スヌーズ機能はオフになります。

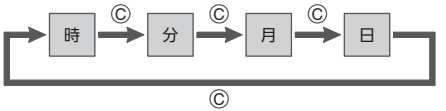


3. セット箇所を選ぶ

Ⓒボタンを押します

➡Ⓒボタンを押すたびに点滅箇所が以下の順で切り替わります。

- 点滅箇所がセットできます。



4. 点滅箇所をセットする

Ⓓ または Ⓑボタンを押します

➡Ⓓボタンを押すたびに1つずつ進み、Ⓑボタンを押すたびに1つずつ戻ります。

- Ⓓ・Ⓑボタンとも押し続けると早送りができます。
- 「月」をセットしないときは [−] を、「日」をセットしないときは [− −] を表示させます。

手順*3.*～*4.*の操作を繰り返して、時・分、月・日をセットします。

- 「時」のセットのとき午前/午後 (P)、または24時間制にご注意ください。
- 時刻モードの現在時刻を24時間制表示にしているときは、アラーム時刻も24時間制表示になります。
- 「時・分」に加えて、「月・日」をセットすることにより、以下のようにアラームを鳴らすタイミングが選べます。

毎日鳴らす：「時・分」のみセット
指定月に毎日鳴らす：「月・時・分」のみセット
毎月同じ日に鳴らす：「日・時・分」のみセット
指定月日に鳴らす：「月・日・時・分」すべてセット

5. セットを終わる

Ⓐボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。

- 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

■ アラーム・時報のオン/オフ設定

アラームモードでⒹボタンを押して、設定したいアラームまたは時報を選びます。

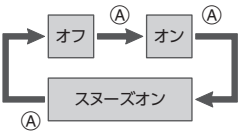
Ⓐボタンを押します

➡Ⓐボタンを押すたびに、以下のようにアラームまたは時報のオンとオフが切り替わります。



アラームオンマーク

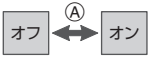
・アラーム1





スヌーズオンマーク

・アラーム2/3/時報





時報オンマーク

★モニターアラーム

アラームモードでⒹボタンを押し続けると、押している間アラーム音が鳴ります。

★鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと、音が止まります。

●スヌーズアラームのときは

- スヌーズアラームのときは、約5分後に再び鳴り出します。(スヌーズ中は[SNZ]が点滅します)
- スヌーズアラームのときに以下の操作を行いますと、スヌーズアラームが中断されます。
  - ・アラーム1を「アラーム・時報のオン/オフ設定」にしたがいオフにしたり、通常のアラームに切り替えたとき。
  - ・アラームモードでアラーム1をセット状態にしたとき。
  - ・時刻モードで時刻セット状態にしたとき。

デュアルタイムの使い方

7ページの「モードを切り替える」にしたがい
Ⓒボタンを押し、デュアルタイムモードにします。

デュアルタイムとは、時刻モードの現在時刻とは別に海外時刻などもう1つの時刻をセットできる機能です。

- デュアルタイムの「秒」は現在時刻の「秒」に連動しています。
- 現在時刻を24時間制にしているときは、デュアルタイムも自動的に24時間制で表示されます。

■デュアルタイムのセット

1. セット状態にする

デュアルタイムモードのとき、

Ⓐボタンを1秒以上押し続けます

➠サマータイム設定となり、DSTマークと［On］または［OF］が点滅します。

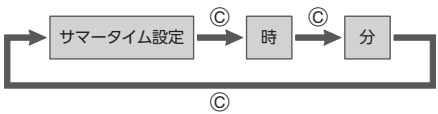


2. セット箇所を選ぶ

Ⓒボタンを押します

➠Ⓒボタンを押すたびに点滅箇所が以下の順で切り替わります。

- 点滅箇所がセットできます。



3. 点滅箇所をセットする

Ⓓまたは Ⓑボタンを押します

➠Ⓓボタンを押すたびに1つずつ進み、Ⓑボタンを押すたびに1つずつ戻ります。

- Ⓓ・Ⓑボタンとも押し続けると早送りができます。

手順*2.*～*3.*の操作を繰り返して、サマータイム設定および時・分をセットします。

- 「時」のセットのとき午前/午後 (P)、または24時間制にご注意ください。
- サマータイム設定は、Ⓓボタンを押すたびに [On] (オン) と [OF] (オフ) が切り替わります。オンのときはデュアルタイムモードでDSTマークが点灯します。

4. セットを終わる

Ⓐボタンを押します

➠点滅が止まり、セット完了です。

- 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

★サマータイム(DST)について

サマータイムとはDST (Daylight Saving Time) とも言い、通常の時刻から1時間進める夏時間制度のことです。
サマータイムの採用時期は国や地域により異なりますし、採用していないところもありますのでご注意ください。

時刻・カレンダーの合わせ方

以下の操作は時刻モードで行います。

電池交換後などで、時刻やカレンダーが合っていないときは、以下の方法でセットします。

■時刻・カレンダーのセット

1. セット状態にする

時刻モードのとき、

Ⓐボタンを1秒以上押し続けます

➡「秒」が点滅します。



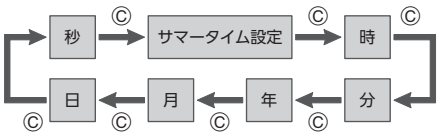
2. セット箇所を選ぶ

Ⓒボタンを押します

➡Ⓒボタンを押すたびに点滅箇所が以下の順で切り替わります。

- 点滅箇所がセットできます。





3. 点滅箇所をセットする

Ⓓまたは Ⓑボタンを押します



➠Ⓓボタンを押すたびに1つずつ進み、Ⓑボタンを押すたびに1つずつ戻ります。

- Ⓓ・Ⓑボタンとも押し続けると早送りができます。
- 「秒」を設定する場合：Ⓓボタンを押すと00秒にリセットされます。30～59秒のときは、1分繰り上がります。

手順*2.*～*3.*の操作を繰り返して、秒およびサマータイム設定・時・分・年・月・日をセットします。

- 「時」のセットのとき午前/午後(P)、または24時間制にご注意ください。
- 「年」は2000～2099年の範囲内でセットでき、年・月・日をセットすると、自動的に曜日が算出されます。
- カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外の修正は不要です。
- サマータイム設定は、Ⓓボタンを押すたびに[On](オン)と[OF](オフ)が切り替わります。オンのときは時刻モード、アラームモードでDSTマークが点灯します。

4. セットを終わる

Ⓐボタンを2回押します

➠点滅が止まり、セット完了です。

- 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

★サマータイム(DST)について

サマータイムとはDST(Daylight Saving Time)とも言い、通常の時刻から1時間進める夏時間制度のことです。
サマータイムの採用時期は国や地域により異なりますし、採用していないところもありますのでご注意ください。

★12/24時間制表示切り替え

時刻モードのとき、

Ⓓボタンを押します

➠Ⓓボタンを押すたびに、12時間制表示(午前/午後(P))と24時間制表示が切り替わります。

- タイマーモード、デュアルタイムモードで表示される時刻モードの現在時刻に、Pは表示されません。

製品仕様

精　　度：平均月差±30秒

基本機能：時・分・秒、月・日・曜日、
午前/午後(P)/24時間制表示、
フルオートカレンダー(2000～
2099年)

ストップウオッチ機能：計測単位　1/100秒
計測範囲　23時間59分59秒99(24時間計)
計測機能　通常計測、スプリット計測、1・2着同時計測

タイマー機能：計測単位　1秒
計測範囲　24時間
タイマー報音時間　10秒間
リピートタイマー/オートリピートタイマー切り替え

アラーム機能：時刻アラーム
アラーム数　3本(アラーム1のみ通常/スヌーズ選択可)
セット単位　月・日・時・分
アラーム報音時間　10秒間
時報　毎正時に電子音で報知

デュアルタイム機能：時・分・秒、午前/午後(P)/24時間制表示

その他：自動復帰機能、サマータイム設定機能、12/24時間制表示切り替え、操作音オン/オフ切り替え、LEDライト、ライト点灯時間切り替え、モニターアラーム

使用電池：CR2032　1個(電池別途販売)
公称電圧　3V

電池寿命：約10年
(電子音10秒間/日、ライト1.5秒間/日)

改良などのため、仕様は予告なく変更されることがあります。

ご使用上の注意

■防水性

● 防水時計は時計の表面または裏ぶたに「WATER RESIST」または「WATER RESISTANT」と表示されているもので、次のように分類されます。

		日常生活用防水	日常生活用強化防水		
			5気圧防水	10気圧防水	20気圧防水
表示	時計の表面または裏ぶたに表記	「BAR」表記無し	5BAR	10BAR	20BAR
使用例	洗顔、雨	○	○	○	○
	水仕事、水泳	×	○	○	○
	ウインドサーフィン	×	×	○	○
	スキンダイビング(素潜り)	×	×	○	○

● 専門的な潜水＝スクーバダイビング(空気ボンベ使用)でのご使用はお避けください。

● 時計の表面または裏ぶたに「WATER RESIST」または「WATER RESISTANT」と表示されていないものは防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。

● 防水構造の機種でも、以下のご使用はお避けください。
防水性能の低下や、ガラスの内側が曇る原因になります。
- 「水中で」および「時計に水分がついた状態で」りゅうずやボタンを操作すること
- 入浴のときに使用すること
- 温水プールやサウナなどの高温多湿な環境で使用すること
- 時計を手につけたまま手洗い／洗顔／家事などをするときに、石鹸や洗剤を使うこと

● 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れを拭き取ってください。

● 防水性を保つために定期的 (2～3年を目安) なパッキン交換をおすすめします。

● 電池交換の際、防水検査を行いますので、必ず「修理お申込み先」またはお買い上げの販売店にお申し付けください (特殊な工具を必要とします)。

● 防水時計の一部にデザイン上、皮革バンドを使用しているモデルがありますが、皮革バンド付の状態で、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。

● 時計が急冷された場合など、ガラスの内側が曇ることがありますが、すぐに曇りが無くなるようであれば特に問題はありません。
夏季に高温の室外から室内に入りエアコンの吹き出し口付近で冷気にさらされたり、冬季に暖かい室内から出て屋外の冷気や雪に触れた場合など、外気と時計内部の温度差が大きくなることによって曇る時間が長くなることがあります。
なお、曇りが消えなかったり、時計内部に水が残っている場合は、ただちにご使用をやめて、修理を「修理お申込み先」またはお買い上げの販売店にお申し付けください。

■バンド

● バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。

● バンドは、劣化やさびなどにより、切れたり外れたりすること、接合部のピンが飛び出したり抜け落ちたりすることがあります。これらは、時計の落下や紛失、けがの原因となります。バンドは常にお手入れをして清潔な状態でご使用ください。

● バンドに弾力性がなくなる、ひび割れ、変色、緩み、接合部のピンの飛び出しや抜け落ちなどの異常がある場合は、ご使用をやめてください。点検・修理(有償)や新しいバンドとの交換を、「修理お申込み先」またはお買い上げの販売店にお申し付けください。

■ 温度

● 自動車のダッシュボードや暖房器具の近く等の高温になる場所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったり、故障の原因となります。
● ＋60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。液晶表示は、0℃以下や＋40℃以上では、表示が見えにくくなることがあります。

■ ショック

● 通常の使用状態でのショックや軽い運動 (キャッチボール、テニスなど) には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると、故障の原因になります。
ただし、耐衝撃構造の時計の場合 (G-SHOCK/BABY-G/G-MS) は腕につけたままでチェーンソーなどの強い振動や、激しいスポーツ (モトクロスなど) でのショックを受けても時計には影響ありません。

■ 磁気

● 通常、磁気の影響はありませんが、極度に強い磁気 (医療機器など) は誤動作や電子部品を破損する恐れがありますのでお避けください。

■ 静電気

● 静電気により誤った時刻を表示したりします。また、極度に強い静電気は、電子部品を破損する恐れがあります。
● 静電気により、一時的に液晶の点灯していない部分ににじみ現象が発生することがあります。

■ 薬品類

● シンナー、ガソリン、各種溶剤、油脂またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類等が付着すると、樹脂ケース、樹脂バンド、皮革などに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

■ 保管

● 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などを拭き取り、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■ 樹脂部品について

● 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が樹脂部品に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分を拭き取り、他の製品に密着させたままにしないでください。
● 長時間、直射日光 (紫外線) に当てたり、汚れが付着したまま放置すると色あせする場合があります。
● 塗装部品は、使用状況 (過度の外力、連続したこすれ、衝撃等) により磨耗し色落ちしたりすることがあります。

- バンドにプリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。
- 蛍光商品は、長時間濡れたままにしておくと色が落ちる恐れがありますので、濡れているときはすぐに水分を拭き取って、乾かしてください。
- スケルトン（透明）仕様の部品は、汗や汚れ等の吸収や高温多湿への放置により変色を起こすことがあります。
- ご使用状態や保管環境により異なりますが、日々のご使用や長期保管によって劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

■皮革バンドについて

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が皮革バンドに移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに柔らかい布などで軽く拭いて、他の製品に密着させたままにしないでください。
- 長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま長時間放置すると色あせする場合があります。

  ご注意：皮革バンドは、摩擦・汚れにより色を移したり、色落ちすることがあります。

■金属部品について

- 金属は、ステンレスやメッキ品でも汚れたままご使用になりますと、さびが発生することがあります。汗をかいたときや水に濡らしたときは、柔らかい吸湿性の良い布などでよく拭き取った後に、通気性の良い場所に保管し、よく乾燥させてください。
- ときどき、柔らかい歯ブラシに中性洗剤を水で薄めた液や石鹸水をつけて、こすり洗いをしてください。その後、洗剤成分を水でよく洗い流し、柔らかい吸湿性の良い布などで水分を拭き取ってください。なお、洗うときは「調理用ラップを巻く」などして、時計本体に洗剤や石鹸水がかからないようにしてください。

■抗菌防臭バンドについて

- 抗菌防臭バンドは汗などによる細菌の増殖を抑え、においの発生を防ぎ、常に清潔で快適な装着感が得られます。抗菌・防臭の効果を上げるために、バンドの汚れ、汗、水分等は吸湿性の良い柔らかい布で拭き取り、常に清潔にしてご使用ください。抗菌防臭バンドは微生物や細菌の増殖を抑えるためのもので、アレルギー等による皮膚のかぶれ等を抑えるものではありません。

■液晶表示について

- 液晶表示は、見る方向によって表示が見えにくくなることがあります。

万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

お手入れについて

■ お手入れのしかた

時計も衣類同様、直接身につけるものです。長くお使いいただくために、汚れ・汗・水分などは柔らかい布などでこまめに拭き取り、常に清潔な状態でご使用ください。

- 海水や泥がついた場合は、真水でよく洗い流してください。
- 金属バンドおよび樹脂バンドの金属部品は、柔らかい歯ブラシに中性洗剤を水で薄めた液や石鹸水をつけて、こすり洗いをしてください。その後、洗剤成分を水でよく洗い流し、柔らかい吸湿性の良い布などで水分を拭き取ってください。なお、洗うときは「調理用ラップを巻く」などして、時計本体に洗剤や石鹸水がかからないようにしてください。
- 樹脂バンドは、水で洗い、柔らかい布などで水分を拭き取ってください。また、樹脂バンドの表面にシミのような模様が発生することがありますが、人体および衣類への影響はありません。布などで拭き取ってください。
- 皮革バンドは、水や汗がついた場合には、柔らかい布などで軽く拭いてください。
- りゅうずやボタンや回転ベゼルは、長期間操作しないと動きが悪くなる場合があります。ときどき、りゅうずや回転ベゼルを回したり、ボタンを押したりしてください。

■ お手入れを怠ると

〈さび〉

- 時計で使用している金属はさびにくい性質ですが、汚れによりさびが発生します。
  - 汚れにより酸素が絶たれると、表面の酸化皮膜が維持できなくなり、さびが発生します。
- さびが発生すると、金属部分に鋭利な箇所ができたり、接合部のピンが飛び出したり抜け落ちたりすることがあります。異常に気がついた場合は、ご使用をやめて、修理(有償)を「修理お申込み先」またはお買い上げの販売店にお申し付けください。
- 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやさびがしみ出して、衣類の袖を汚したり、皮膚がかぶれたり、時計の性能が劣化することがあります。

〈劣化〉

- 樹脂バンドや樹脂ベゼルは、汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に放置すると経年劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

〈かぶれ〉

- 皮膚の弱い方や体調により、かぶれたりすることがあります。特に、皮革バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをしてください。万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

電池交換について

- 電池交換は必ず「修理お申込み先」またはお買い上げの販売店にお申し付けください。
- 電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。
- 電池交換の際、防水検査を行います。
- 樹脂（外装）部品は日々のご使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。電池交換ご依頼品の樹脂部分にひびなどの異常がある場合、破損の恐れがありますので作業を行わずにご返却する旨のご案内をさせていただくことがございます。あらかじめご了承ください。

■最初の電池

- お買い上げの時計に組み込まれている電池（モニター用電池）は、工場出荷時点に時計の機能や性能をチェックするために組み込まれたものです。
- お客様がお買い上げになるまでの期間に電池は消耗しますので、モニター用電池は取扱説明書などに記載されている電池寿命に満たない場合があります。また、電池交換は保証期間内でも有料となります。

■電池の消耗

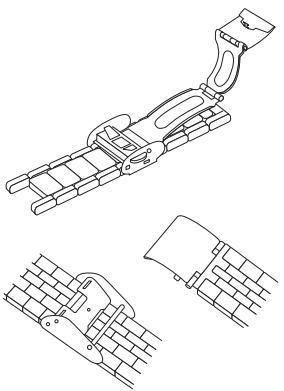
- 電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。
- 消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

金属バンドの駒詰めについて

金属バンド（フリータイプの中留構造バンド※を除く）の駒詰めには専用の工具が必要となります。
お取り扱いによる、部品の変形や破損、またはけが等を予防するためにも、お買い上げの販売店にご相談ください。
なお、「修理お申込み先」においても保証期間内は無償、保証期間経過後は有償にて承っております。
詳しくは、「修理に関するお問合せ先」へお問い合わせください。

※ 中留をスライドさせて長さ調整するフリータイプのバンドでは、駒の取り外しはできません。

（例）



CASIO®

カシオ計算機株式会社
〒151-8543
東京都渋谷区本町1-6-2